

山佐交流センターだより

2019年（平成31年）2月号

発行日 平成31年 1月18日

発行 山佐交流センター TEL (FAX) 35-0129



上山佐のイメージキャラクター「てんぼごん」

12月末の上山佐人口=388人（対前月比：△2人）

着々と進む水力発電所建設工事

昨年9月に着工された山佐ダム水力発電所建設工事、大型車両が通るための県道からの進入仮設道路が整備されたり、ダム堰堤下の発電所建設予定場所の周辺の山が掘削されたり、仮設橋が設置されたりしています。今月末頃からは、いよいよ発電所建屋の工事が始まり、今年の8月末には完成予定だと聞いています。

今、地球温暖化をもたらす温室効果ガスが問題になっていますが、水力発電は二酸化炭素をほぼ出さないクリーンエネルギーです。

山佐ダムの水力発電所は、完成すれば一般家庭400世帯分の199KWの発電能力があるのですが、石炭による火力発電で同じ出力を出そうとした場合と比較し、一時間あたり172kgの二酸化炭素が削減できる計算になります（中国電力のホームページ掲載数値により試算）。



クリーンエネルギーが注目される中、この地域に建設される水力発電所。地域に住むものとして、その建設を注目して見守っていききたいものです。

（写真は上口集会所付近に設置された進入仮設道路、及び工事が進むダム堰堤下の発電所建設予定地付近）



発電所建屋建設予定地

今年の住民学習会 テーマは出雲弁！

毎年2月に開催している上山佐地区住民学習会。今年は松江・出雲弁保存会会長の小林忠夫さんを講師にお迎えし、「出雲弁なんぞかんぞ」という演題で、2月17日（日）の13時30分から交流センターで行う予定です。方言は「ダサイ」という風潮がある中、地域文化とも言える出雲弁を見直し、その魅力を再発見する機会にしたいと考えています。詳細が決定次第、新聞折込のチラシでお知らせします。多数お出かけください。（写真は出雲弁番付表の一部）



除雪ボランティア隊出動準備完了

12月23日、上山佐地区自主防災会（会長：鴨木秀規さん）の小型除雪機操作講習会が開催され、13名が参加しました。積雪時に講習を受けた除雪ボランティア隊で、外出が困難になる高齢者世帯宅などへ出動します。中海市長会の事業で市内各地に配置された除雪機、こうした形態で運用しているのは上山佐地区だけです。体制は整っていますが、穏やかな冬であることを願っています。



（小型除雪機操作講習会の様子）

人口減少問題を考える

昨年の交流センターだより11月号で、上山佐の人口が400人を下回ったことのお知らせしました。更に12月号で島根県が作った『しまねの郷づくり応援サイト』というホームページで、今後の人口推移がシミュレーションできることもお知らせしました。誰もがインターネットを使える訳ではありませんので、そこで示されている今後の人口推計を掲載します。10年後の2028年が328人、20年後の2038年が263人、30年後の2048年には193人になると推計されています。ちなみに1990（平成2）年は635人でした。

平成時代、30年間の上山佐の出来事を振り返ってみると、平成元年に小中学校の新校庭完成。平成3年に山佐中学校校舎改築完成。平成8年に小中学校共用体育館完成。平成14年に子供みこし巡行スタート。平成16年に上山佐小学校が奥田原小学校と統合し山佐小学校設立、市町村合併により広瀬町が消滅し新生安来市誕生、山佐ダム体験交流施設「やまびこ」完成。平成18年に農協代理所廃止。平成19年に山佐中学校が閉校し広瀬中学校へ統合。平成21年に山佐マーケット廃止。平成22年に山佐駐在所廃止。平成27年に山佐郵便局移転新築オープン。などが大きなニュースではなかったでしょうか。

山佐中学校にいたっては、新しい校舎が建設されたにもかかわらず、わずか16年後に統合されています。そのことは当時ずさんな見込をしていた訳ではなく、これほど少子化が進むことを予測できなかったということです。前述の人口推計も、場合によっては推計以上に減少する可能性もあります。

人口減少はこの地域だけのことではありませんが、それが今後一層進んでも暮らしていけるだけの生活機能をどうやって確保していくのか？転出者の歯止め対策をどうするのか？



（空き施設が目立つ上山佐の中心部）

Uターン者促進対策をするのか？するならどう進めるのか？農地をどう守っていくのか？などを真剣に話し合い、対策を進めていかなければ、数年前の新聞記事で話題になった『消滅』に近づいていくと言えるのではないのでしょうか。（人口減少問題は不定期でシリーズ化する予定です）

2月	地域行事・交流センター行事などの予定
1 金	てんぼこどもクラブ
2 土	珠算教室
3 日	
4 月	健康体操、珠算教室
5 火	
6 水	
7 木	健康体操、カラオケサークル てんぼこどもクラブ
8 金	てんぼこどもクラブ
9 土	珠算教室
10 日	
11 月	珠算教室
12 火	ニコニコサロン（小学生交流会）
13 水	てんぼこどもクラブ
14 木	健康体操、てんぼこどもクラブ
15 金	てんぼこどもクラブ
16 土	珠算教室
17 日	上山佐地区住民学習会
18 月	健康体操、珠算教室
19 火	
20 水	クロリティィ・スカットボール会 てんぼこどもクラブ
21 木	健康体操、カラオケサークル てんぼこどもクラブ
22 金	てんぼこどもクラブ
23 土	珠算教室
24 日	
25 月	健康体操、珠算教室
26 火	
27 水	てんぼこどもクラブ
28 木	健康体操、てんぼこどもクラブ

（予定は変更になることもあります）

【編集後記】

本文に掲載した人口減少問題について補足です。11月号でも同じ内容を書きましたが、この危機的状況の中、危機感を基に実際の行動に移すことが求められているのではないのでしょうか。交流センターではこうした危機感を地域の皆様と共有するため、自治会や各種団体、さらに親しい友人同士の集まりなどから声を掛けていただければ、出かけて詳しい人口の推移や推計など、お話しをさせてもらいたいと考えています。お気軽にお問い合わせください。